

## プログラム責任者からのメッセージ

内分泌・糖尿病内科  
教授 藤本 新平

内科は、幅広い知識と技能を必要とする診療科です。その一方で、大学病院はそれぞれの診療科において専門性をもった診療を求められます。本プログラムは、専門領域が垣根なく横につながり、内科領域を習得できるよう作られています。そして地域医療をはじめとして様々な臨床経験が可能になるよう、高知県全域にわたる病院と連携しています。高知大学医学部附属病院は、高知県における医師の育成・大学病院として難病等の診療だけではなく地域の中核病院としての役割・そして臨床研究と3つの使命を背負っています。卒前教育から、初期研修、後期研修(内科専門医とサブスペシャルティの取得)とシームレスな医学教育、そしてそれまでの経験から生まれた疑問点を解決するために大学院へ進学し、“From bedside to bench and back again.”研究のための研究ではなく臨床に根ざした臨床にフィードバックできる研究を行います。その後は留学、再び臨床へ戻り更なる専門領域の研修もしくは地域医療への貢献と、みなさんにあった道を各診療科は用意しています。私たちと一緒に、高知県の医療に取り組んでくれる若い人たちを歓迎します。

## プログラムの特色

本プログラムは、高知県全体の医療機関との連携により作成したプログラムであり、希望する地域にある連携施設・特別連携施設での研修が可能であり、かつ高度医療から、急性期医療および地域医療を幅広く研修することができます。このことにより、地域枠の学生にも最大限の配慮が可能です。

本学では、大学病院の特性を活かし、学生教育、初期研修、専門医研修をシームレスに支援し、内科専門医を自分のペースに合わせて取得したい方から、サブスペシャルティを早期に取得したい方まで、効率よく対応することが可能です。



## 連携施設名等

	施設名	指導医名	病床数
連携施設	高知大学医学部附属病院	藤本新平、内田一茂、寺田典夫、小島研介、大西広志、北岡裕章、松下拓也、佐竹悠良 他26名	613
	県立あき総合病院	古野貴志 他2名	270
	高知医療センター	島田安博 他16名	620
	近森病院	川井和哉 他28名	489
	高知赤十字病院	有井薰 他14名	402
	国立病院機構高知病院	篠原勉 他6名	424
	細木病院	西岡達矢 他4名	456
	県立幡多けんみん病院	矢部敏和 他3名	322
	JA高知病院	住友賢哉 他1名	178
	国立循環器病研究センター	野口暉夫 他76名	527
特別連携施設	神戸市立医療センター 中央市民病院	富井啓介 他39名	768
	静岡県立静岡がんセンター	高橋利明 他5名	615
	国立がん研修センター東病院	内藤陽一 他20名	425
	四万十市立市民病院、渭南病院、大月病院、愛宕病院、いずみの病院、高知生協病院、高知高須病院、高知西病院、南国病院、白菊園病院、土佐市民病院、野市中央病院、嶺北中央病院、北島病院、須崎くろしお病院、くばかわ病院、梼原病院、大井田病院、佐川町立高北国民健康保険病院、島本病院、四万十市国民健康保険西土佐診療所、仁淀川町国民健康保険大崎診療所、四万十町国民健康保険十和診療所、四万十町立興津診療所、いの町立国民健康保険仁淀病院		

専攻医  
週間スケジュール

内分泌代謝・腎臓内科の例

	月	火	水	木	金	土・日
午前	病棟業務	外来業務	総合 カンファレンス	外来業務	病棟業務	全透 体当業 直務、 など オン コール、
午後	病棟業務 糖尿病 カンファレンス	病棟業務	腎生検 甲状腺細胞診 内分泌カンファレンス 腎カンファレンス	病棟業務	病棟業務	
夜	オンコール、全体当直など					

大学での研修だけでなく連携施設での研修は必須となります。

カリキュラムに定める70疾患群をすべて経験するのを目標として日本内科学会専攻医登録評価システム(J-Osler)に200症例以上、その研修内容を登録します。ただし、修了認定には通算で最低56疾患群以上を経験することが必須です。専門研修2年次までに登録を終えた病歴要約を29編作成し、日本内科学会病歴要約評価ボードによる査読を順次受け、受理されるまで改訂を重ねる必要があります。

内科専門医  
受験までの流れ

高知大学医学部  
附属病院の例

内科研修と  
サブスペシャルティ  
研修の関係

## A) 内科標準タイプ

サブスペシャルティが未決定の場合は内科標準コースを選択します。専攻医は各医局に登録し、3年間で基幹病院である高知大学医学部附属病院および専門研修連携施設／特別連携施設をローテーションし、じっくりと幅広い内科研修を行います。

## B) サブスペシャルティ重点研修タイプ

運動研修領域は希望するサブスペシャルティ領域の内科に入局し、高知大学医学部附属病院で計1年以上研修します。内科研修期間中にサブスペシャルティ重点研修を組み入れることで、より早期にサブスペシャルティ領域専門医として活躍したい人のためのコースです。サブスペシャルティ領域の研修プログラムに則って、当該領域を重点的に研修する期間を設けます。



※内容については、今後変更の可能性があります

## 取得可能専門医

### 内科専門医

- 消化器病 ●呼吸器 ●内分泌代謝 ●腎臓 ●アレルギー
- 老年病 ●リウマチ ●循環器 ●血液 ●糖尿病 ●肝臓
- 感染症 ●脳神経内科 ●腫瘍内科

## 主要症例名と実績数

	入院	外来
総合 I		11,664
総合 II		2,569
総合 III		209
消化器	247	1,412
循環器	182	959
内分泌	34	692
代謝	52	1,084
腎臓	51	379
呼吸器	88	587
血液	89	646
神経	25	367
アレルギー	3	172
膠原病等	66	849
感染症	1	21
救急		270



## 指導医の声



内分泌代謝・腎臓内科  
助教 猪谷 哲司

高知大学医学部附属病院は、高知県の中核病院であるとともに県内の病院や診療所とも連携しながら地域医療を担っています。当院は内科各サブスペシャルティ領域の指導医が多数おり、研修医の先生方が専門医の取得する研修環境が整っていて、思い描く医師像に近づけることだと思います。我々と一緒に内科専門医・サブスペシャルティ領域専門医を目指しましょう！

## 先輩の声



内分泌代謝・腎臓内科  
医員(レジデント)  
吉本 龍太朗

内科専門医を取得するためには、幅広い医学的知識を系統立てて身につける必要があります。その点、高知大学内科専門研修プログラムでは多彩な症例を熱心な指導医のもとで経験することができ、各診療科の専門的な知識を日々身につける機会が豊富にあります。

また、当院でも救急疾患の受け入れが増加しており、高度で専門的な医療のみならず、common diseaseに触れる機会が多分にあります。連携施設も多数あり、プログラム内容を柔軟に考慮できる点も魅力的です。

是非我々とともに専門研修を頑張っていきましょう！



### 問い合わせ先

■教室名／消化器内科学  
■担当者名／内田一茂  
ウチダ カズシゲ

■電話／088-880-2338  
■メール／im23@kochi-u.ac.jp

■教室名／内分泌代謝・腎臓内科学  
■担当者名／寺田典生  
テラダ ヨシオ  
藤本新平  
フジモトシンペイ

■電話／088-880-2343  
■メール／im24@kochi-u.ac.jp

■教室名／血液内科学  
■担当者名／小島研介  
コジマ ケンスケ

■電話／088-888-2920  
■メール／im82@kochi-u.ac.jp

■教室名／呼吸器・アレルギー内科学  
■担当者名／大西広志  
オオニシ ヒロシ

■電話／088-880-2345  
■メール／im25@kochi-u.ac.jp

■教室名／老年病・循環器内科学  
■担当者名／北岡裕章  
キタオカヒロアキ

■電話／088-880-2352  
■メール／im26@kochi-u.ac.jp

■教室名／脳神経内科学  
■担当者名／松下拓也  
マツシタ タクヤ

■電話／088-888-2749  
■メール／im71@kochi-u.ac.jp

■教室名／腫瘍内科学  
■担当者名／佐竹悠良  
サタケ ヒロナガ

■電話／088-888-0388  
■メール／im92@kochi-u.ac.jp